

姉妹との まぐわい

Shimai tonon Maguwai

1

祠に隠された秘密

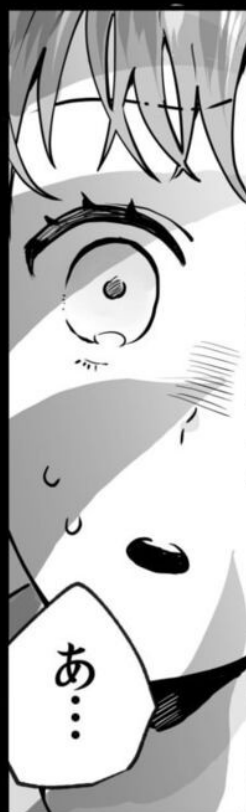
R18
ADULT ONLY

モゲラーノ

MOGELANO

アシオナ
NEXT







蒼ちゃん

そこっ♡

あゝ♡

はぁ♡

ん♡

あゝ♡

はぁ♡

ん♡

奥♡
もつと
してえつ

あゝ♡

はぁ♡

はぁ♡

ん♡

ん♡

はぁ♡

あゝ♡

はぁ♡

あゝ♡

菜月…ッ

はぁ♡







蒼ちゃん…
きもちよかった♡

は—
ほす

彼女は
はたの
秦野 菜月

俺の幼馴染で

恋人だ



俺は中学まで
この島で
育ったが

親の転勤を機に
島を離れた

それから8年—



大学では民俗学を
学んでいます

今日から2週間
よろしく
お願いします

教育実習生の
たにおか
谷岡 蒼汰そうたです



大学4年に
なった俺は
教育実習のために

再びこの島に
やってきた

地歴を担当
してもらうぞ

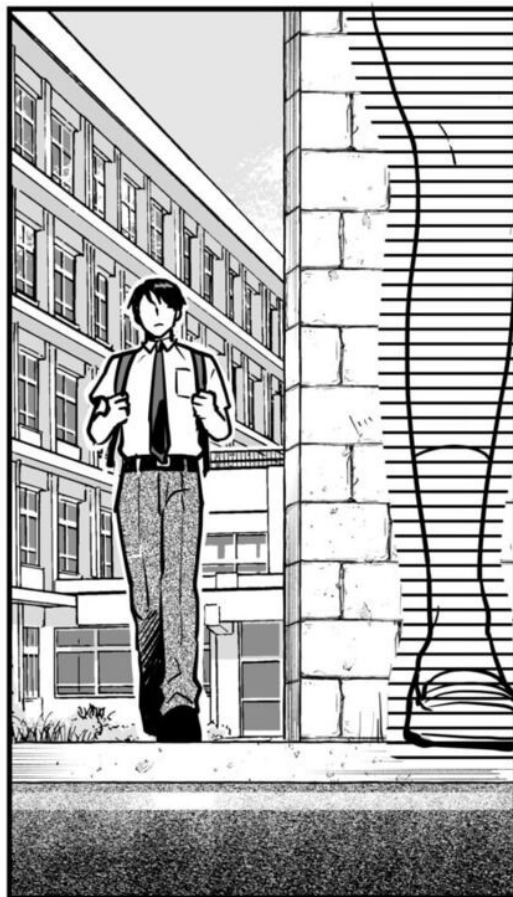
えー
谷岡くんだ



…菜月？



蒼ちゃん…？







ねえ

たまにはわたしのこと
思いだしてくれた？



菜月…



わたしは
蒼ちゃんが
いなくなつてから…
寂しかったよ

それから
教育実習の
期間が終わるまで

放課後は
菜月と一緒に
色々なことを話した

空白の8年間に
埋めるように

そういえば
姉さん…

まひろ
真尋は
どうしてる？

大学の先輩でさ

キャンパスで
偶然会ったときは
びっくりしたな

うん…
姉さんから聞いた

姉さんは
卒業してから
島に帰ってきて

実家の神社で
巫女やってる



そして俺が
教育実習を終え
島から帰る前日――



蒼ちゃんってば!



なんか8年前
みたいだな

あのときの菜月
めちやくちや
泣いてさ

びん。え
ええええ

な!



港まで
見送りに行くね



もう...



あのさ

蒼ちゃん...

わたし
あの頃から

菜月…

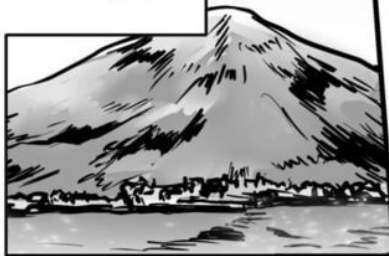
俺も

菜月の
ことが…

蒼ちゃんが好き

それから2ヶ月後
大学が夏休みに
なった俺は

卒論の調査もあり
この島に戻ってきて



こうして菜月と
毎日のように
セックスしている



飲み物
取ってくるから
ちよつと待ってて

ありがとう



そついえば
あれ以来

真尋については
聞けていない



じゃあ
また明日

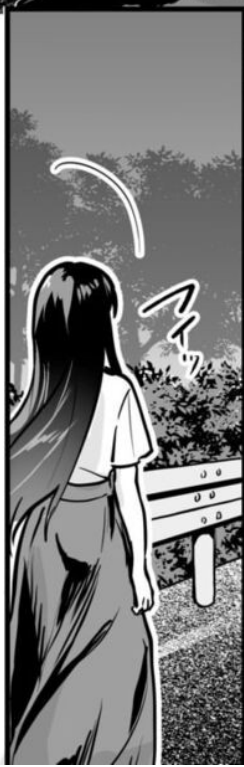
うん

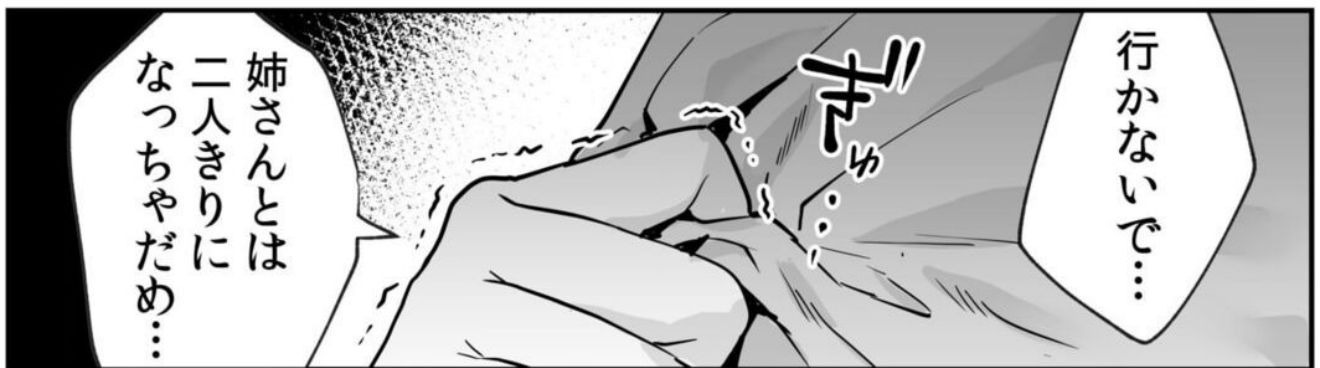


菜月は島に
帰っていると
言っていたし

この家に
いるんだろうが…







でも幼馴染
とはいえ

家族のことに
首を突っ込む
のもなあ…

ツンツン

えっ…

真尋…!?

ハッ
ナナナ

はい

真尋…
どうしたんだ？

なあ菜月と
なにかあったのか？

昔はあんなに
仲が良かった
のに…

……











姉妹とのまぐわい-祠に隠された秘密-(1)

著者 モゲラーノ
レーベル アシオナNEXT

- ★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
- ★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。
-

姉妹との まぐわい

Shimai tonon Maguwai

2

祠に隠された秘密

R18
ADULT ONLY

モゲラーノ

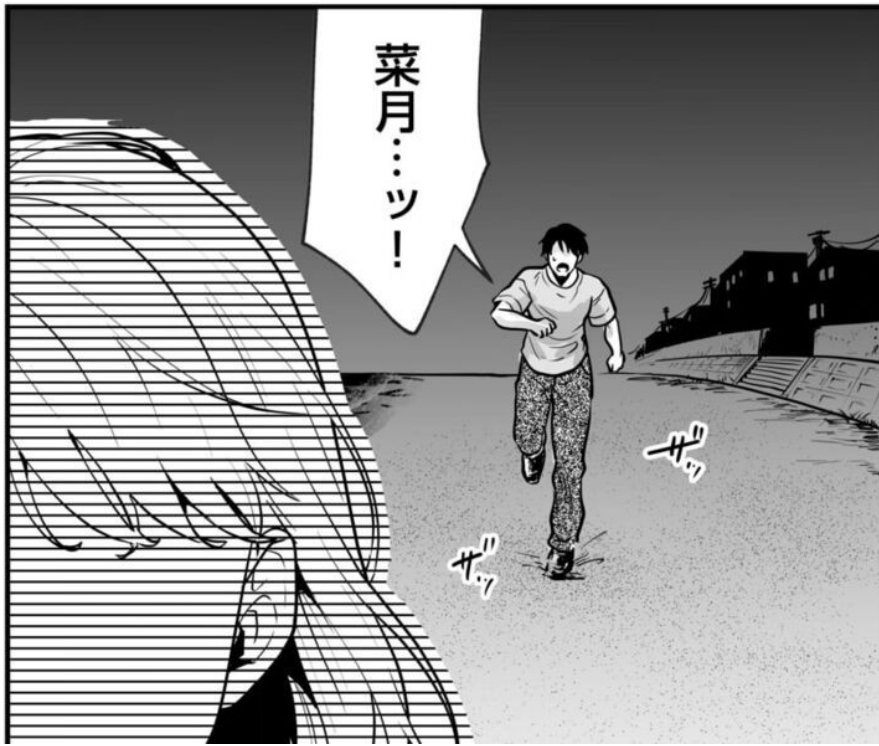
MOGELANO

アシオナ
NEXT











蒼ちゃんに
聞いて欲しいことが
あるの



もう
めちやくちや
混乱してて

超シヨック
だけど…



なんだか様子が
おかしくて…



姉さん
大学卒業して
こつち帰って
きてからさ

うん



心ここにあら
ず
つていう感
じで



巫女の仕事は
しているみたい
なんだけど



少しボーっと
してる
つていうか…



姉さんって
内気だけど

もつと優しく
て
明
る
か
つ
た
で
し
ょ
?



そ
う
い
え
ば
あ
の
時
も
…





姉さんが
家の裏の森とかに
男の人と
消えていったり

明らかに
事後っぽい感じで
でてくるの…



だからさっきの
蒼ちゃんと
姉さんのことも

もしかしたら
なにか理由が
あるのかなって…



は…？



さつき変な
モヤッとしたやつに
身体を掴まれて…



そういえば…



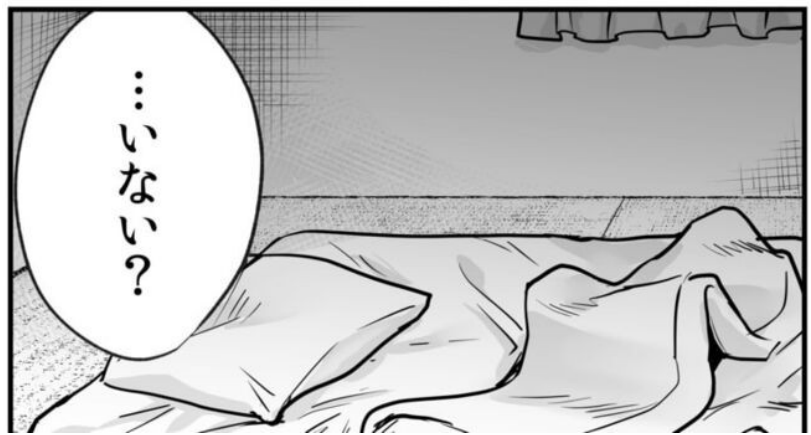
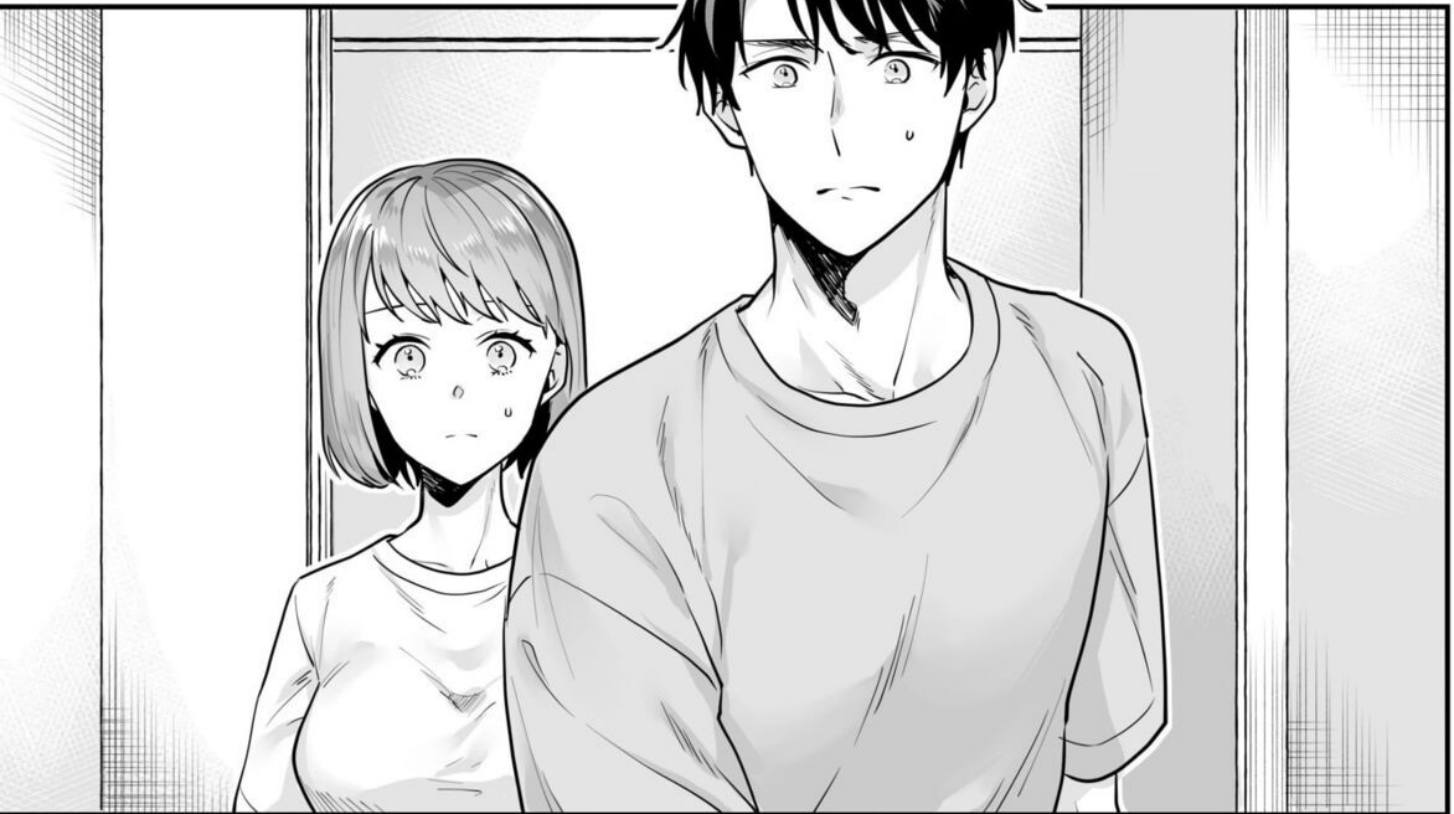
え
なにそれ…



すごい力で…



真尋 口調とかも
おかしかったし…







ほれ
自分で
動いてみせよ

お前の子種も
良さそうだ

はっ
お
もう
く

お
お
お

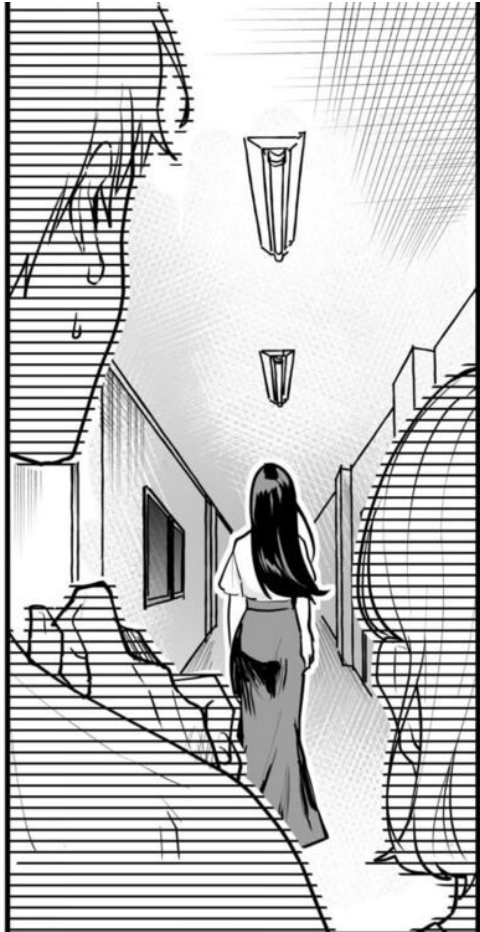


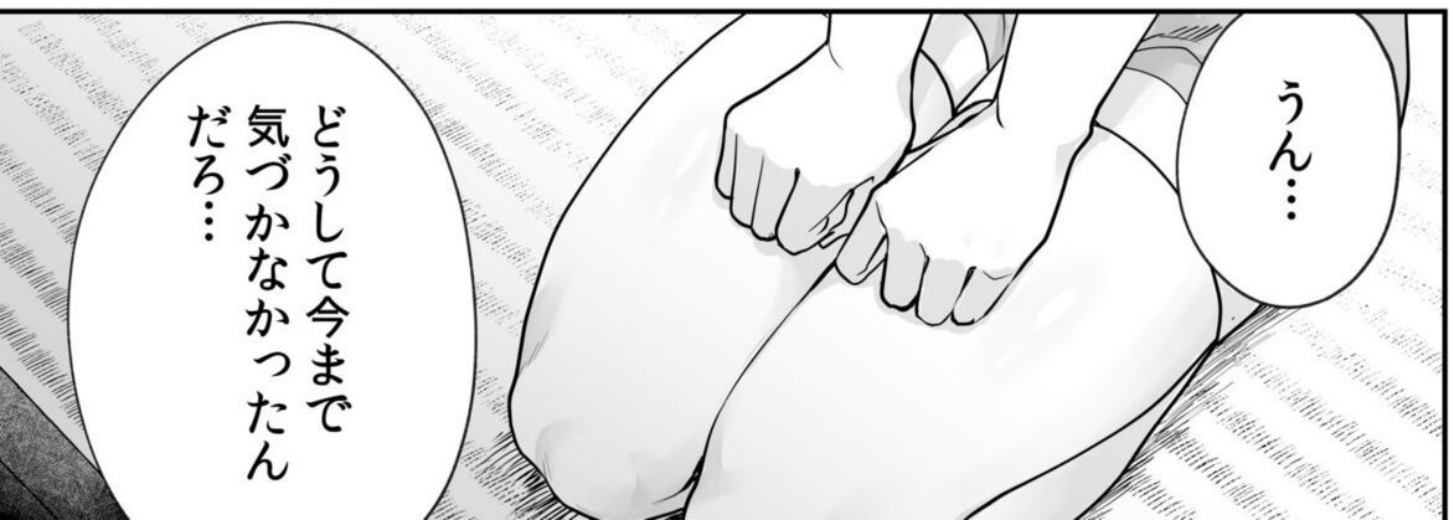
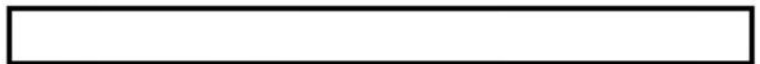
俺たちは
止めることも忘れて

恐ろしいほどの
艶めかしさに
魅入られて
しまっていた















え…祠…？



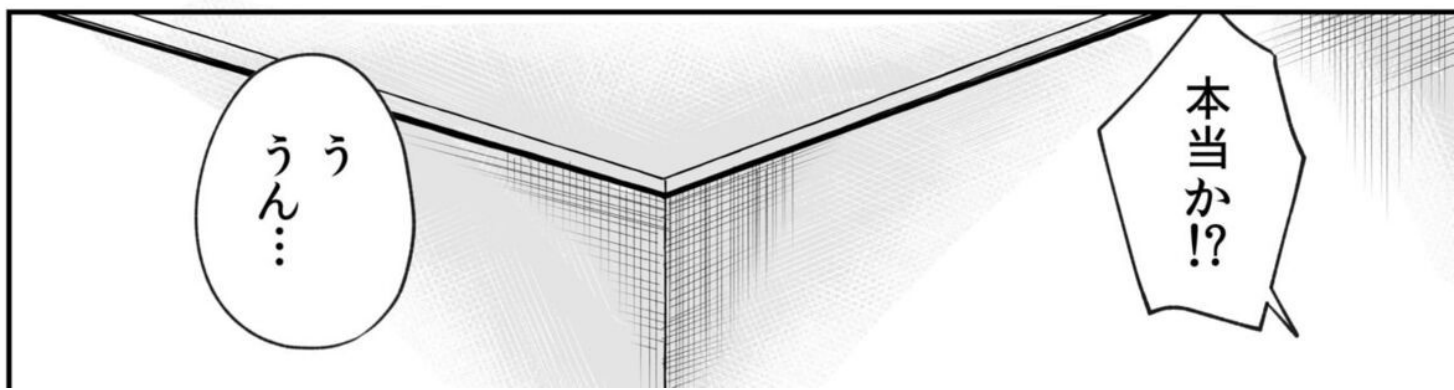
菜月！
卒論研究で
調べただけど

こちら辺に
祠ってあったり
しないか？



あそっういえば
すごい昔…
10年くらい前かな？

私が裏山で見つけた
古い祠に姉さんを
連れて行ったことが
あったな…



本当か!?

うん…

だいぶ
朽ちてたけど…

別になにも
なかったと
思うよ

…

嫌な感じが
する…

そう？

そういう古いものが
実はヤバかったり
するんだよ

明日その祠に
連れて行って
くれないか

うん
いいけど…



うん…



大丈夫だよ

真尋は
元に戻るさ



古の祠…

もしかすると
真尋がああなうて
しまったことの

ヒントが
あるかもしれない—



姉妹とのまぐわい-祠に隠された秘密-(2)

著者 モゲラーノ
レーベル アシオナNEXT

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。

★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

姉妹との まぐわい

Shimai tonon Maguwai

3

祠に隠された秘密

R18
ADULT ONLY

モゲラーノ

MOGELANO

アシオナ NEXT





結構
歩いたな…

さすがに
長くないかこれ…

ね…



はあ…



こんなに
遠いところ
だったつけ…



小さい頃の菜月^{なつき}は
なんでこんな
ところに来たんだか

もお
わたしも
覚えてないの！



それにしても…

なんだか
薄気味悪い
場所だな…



うん…
変な感じ…

ふっ



きもちわるい…



……?
い

なんか…
本当に気持ち悪…



そう
蒼ちゃん…?

…っ





久しぶりね

蒼汰くん



まさか同じ
大学だなんて
驚いたわ

カラシ



真尋は
今年卒業だよな？
島に戻るのか？



いち
に
さん...

蒼汰くんが
転校したのって
えーと...6年前？



すっかり身長も
追い越され
ちゃったわね

俺ももう
ハタチだからね







すっかり
大人の女性に
なった真尋は

そして
年があけて
2月――

とても
綺麗だった

たにおか
谷岡
こっちこっち！

ガラガラ









蒼汰くん…っ

ごめんなさい

まひろ…？

わたしっ…





触って…

すげ…
おっぱいデカ…

ん…

ん…



蒼汰…くうんっ♡

蒼汰くんも
気持ちよくなつて…

ね？♡

まひろ…っ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

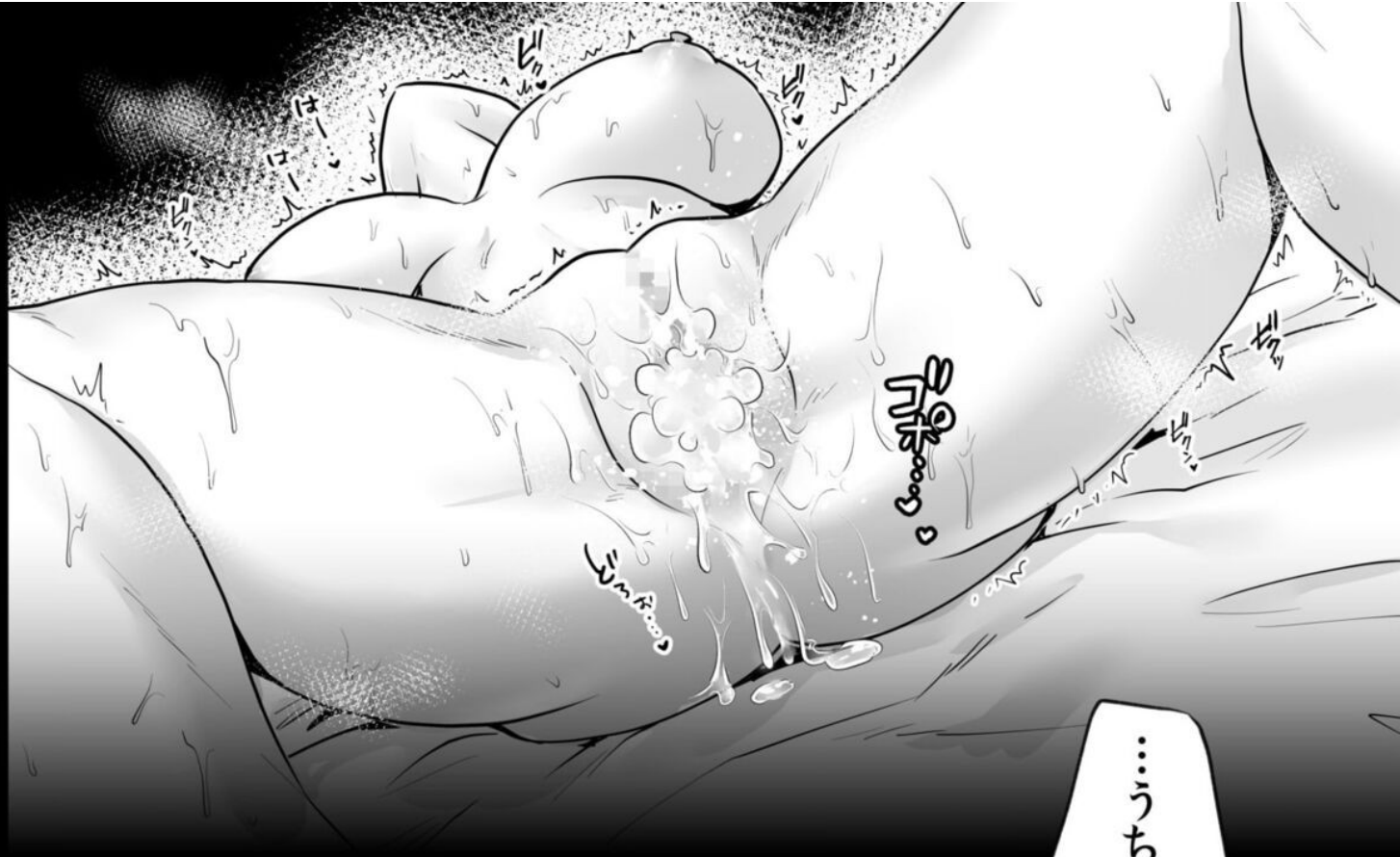
ちゅぽ♡











…うちゃん！



うわあああ！

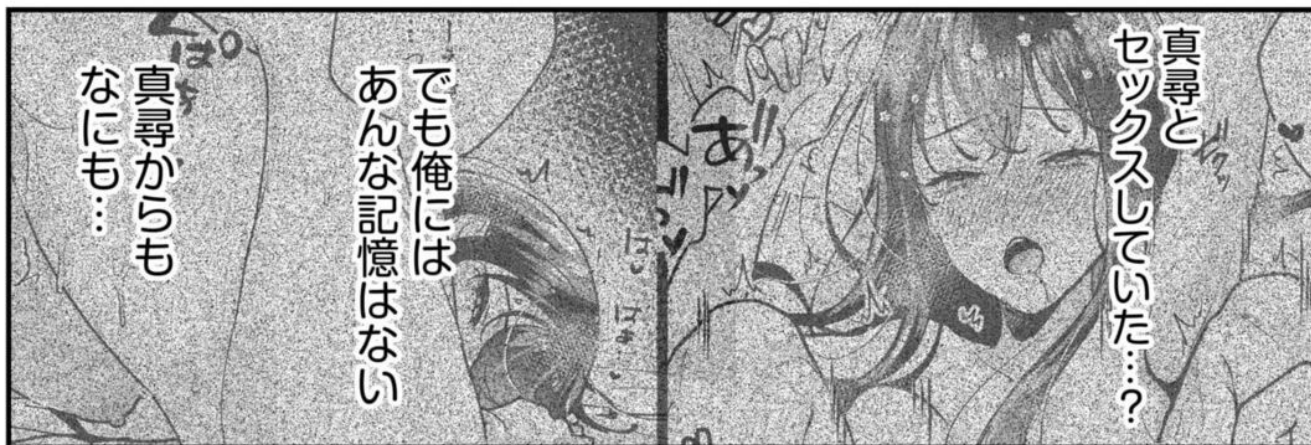


あ…？



蒼ちゃん！！







あの日は
送別会のあと

一人で帰って…
あれ…?



いや…もし
本当にそうなら
ただの言い訳だな…

思い出して
真尋に謝らないと…



蒼ちゃん…っ

大丈夫…
先に進もう
菜月



…ッ



もうすぐだよ





姉妹とのまぐわい-祠に隠された秘密-(3)

著者 モゲラーノ
レーベル アシオナNEXT

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。

★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

Shimai tonon
Maguwai

姉妹との

はこい
祠に隠された秘密

ふぐわい

4

成年
コミック

モゲラーノ

MOGELANO

アシオナ
NEXT











どうして
おうひて…っ？

おひ…



菜月…っ



うっ



ふおめんふえ…っ









気持ちよく

なっちやつてる
よお…っ

菜月…っ

蒼ちゃん…っ









まあそんなに
長くも居られない
だろうが

昨晚ぶりだな



お前まさか…っ！



ああ我が
まひろ
真尋の身体を
借りておる

真尋は
どうしたんだ



家で寝ておる

お主は
我に会いに
来たのであろう？



お前が
すべての原因
なんだな

真尋の身体を使って
なにがしたいんだ…！



ふむ
なぜか…
といえば

この娘が
祠の封印を
破ったからだ



記憶を消すことなど
造作もない

我はな
この娘たちを使って



え…？

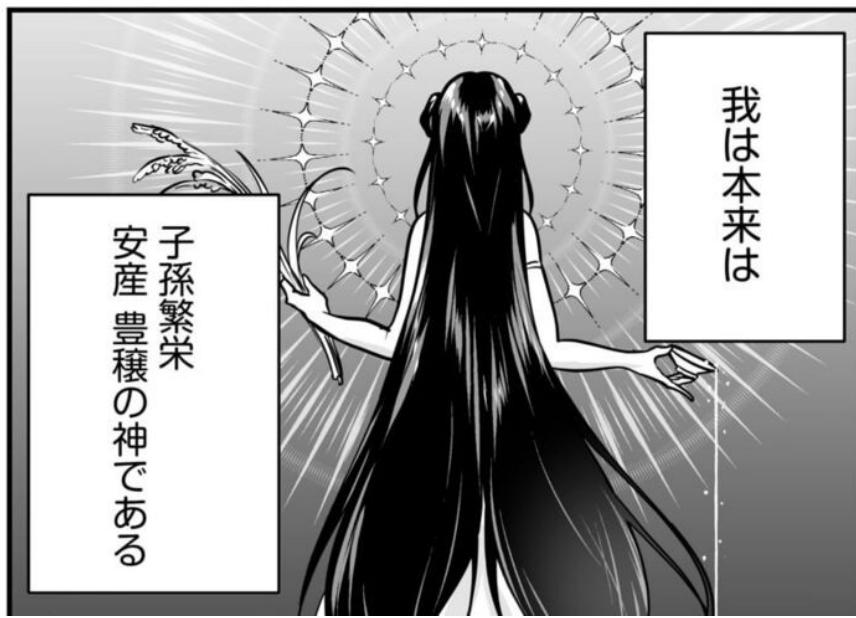
菜月はなにも
なかったって…



私の神格を
取り戻したいのだ



神格…？



私は本来は

子孫繁栄
安産豊穡の神である



…昔話を
しようかの



島の者たちは
この祠を作り
長年我を尊び

また我も
この地に繁栄を
もたらしていた

しかし
三百年ほど前――

島の外から来た者が
新しく社を建てて
からというもの

我のもとに
来る者は一人……

また一人と
減っていき

そうして
誰も来んように
なった……

我は忘れられて
しもうたのだ

そうして
崇める者もおらず
力を失った我を……

……

おおこの祠だな

早く封印して
しまえ

なんじゃ貴様ら！
なにをする！



そんな...

しかし月日は流れ
この娘が祠の封印を
破った



その時
我は気がついて
しもうたのだ

この娘たちが
あの忌まわしき
神社の末裔とな

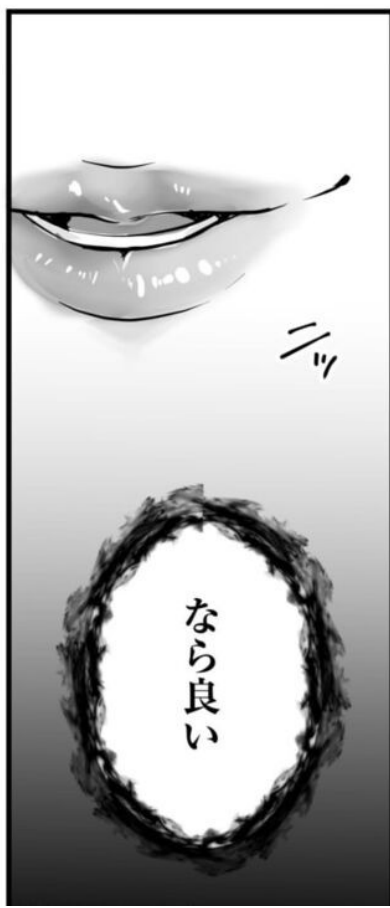
ゆえに我は
妹の方に神格を
取り戻すための

手伝いを
させようと思った

しかし
偶々その場に
居合わせた姉が

わたしが…
身代わりに
なります…!!

待ってください!









まあそう悲嘆に
暮れるでない

我があの娘を
唆したのだから

ああ：
俺はなんてことを…



今日を限りに
その男とは
会えぬのだろうか？



いい機会ではないか



酒の勢いで
一度なら許されるぞ

そうた
蒼汰くん…



そこからは
様々な男の子種を
吸収し

徐々に神格を
取り戻してきたが…

あと一歩…

あと一歩が
届かぬのだ





いま一度

我とまぐわえ

さすれば
真尋を開放して
やらんこともない

は…？



姉妹とのまぐわい-祠に隠された秘密-(4)

著者 モゲラーノ
レーベル アシオナNEXT

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。
